



ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2017-2018

ロータリー:変化をもたらす

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル ■会長/入谷 直行 ■幹事/加藤 英敏 ■会報・雑誌・広報委員長/川瀬 悟
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2017-18年度 国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

第 1229 回

2017年8月1日(火) 晴 第4回

～ 会員増強・新クラブ結成推進月間 ～

齊 唱	君が代、奉仕の理想
出 席	会員 55 名 (出席率算入人数 40 名) 出席 36 名 出席率 90.00% 前々回補填率 100% (7月11日分)
ゲスト	国際ロータリー第2760地区 会員増強委員会 委員長 光岡 新吾さん 米山奨学生 張 佳宝さん

8月の誕生日

2日 有川 英敏さん 11日 三浦 和人さん
14日 加藤 英敏さん

配偶者誕生日

2日 鈴木光世子さん

8月の結婚記念日

12日 白藤 憲雄さん

入 会 式

■紹介 推薦者 江松 央統さん
皆さま、こんばんは。久納さんをご紹介します。地元の先輩です。優しく接してあげてください。

会長 入谷 直行さん
久納さん、入会、誠におめでとうございます。心より歓迎を申し上げます。こんなに若くてハンサムなメンバーがまた1名増えましたので、皆さま方も温かく見守っていただきまして、また久納さんも早く馴染んで名南RCの一員として、ロータリーをエンジョイしていただきたいと思います。

久納 征人 (くのう まさと)さん

生年月日: 昭和48年5月10日 職業分類: ゴム製品製造業
事業所: (株)ダイコーゴム 趣 味: ゴルフ・バイク
推 薦 者: 江松 央統さん

皆さま、こんばんは。緑区でゴムの製造業、ダイコーゴムという会社をやっております久納と申します。宜しく願い致します。

2月にタイのゴルフ旅行に参加させていただき、非常に楽しく優しいメンバーの方達で是非入会したいと思ったのですが、社業が7月迄かなり忙しいと分かっていて、入会をしても例会に参加できないのは心苦しかったので8月に入会させていただきたいとわがまを言わせていただきました。出来る限り例会に参加していきますので、皆さまどうぞ宜しくお願い致します。



会 長 あ い さ つ

会長 入谷 直行さん

皆さま、こんばんは。本日は国際ロータリー第2760地区の会員増強委員会委員長の光岡新吾さんにおいでいただいております。どうぞ宜しくお願い致します。

日本でも海外でも政治の世界はなかなか良い話はございません。ニュースでも取り上げられましたが「付度」という言葉があります。こんな言葉は見ただけでも聞いたこともない、勿論使ったこともないですが、あまりイメージがよくありません。辞書を引きますと、他人の心を思い図るという非常に日本的な良い意味の言葉でして、「付度」の「付」という字はりっしんべんにすんで、それそのものに心を図るという意味があり、それから「度」も同じく図るというような意味があるそうです。政治の世界も官僚の世界も国民不在のことばかりでは困りますので、もう少し国民に対して目を向けていただかなければいけないと思います。

この「付度」という言葉ですが、今年の執行部としましては、ロータリーの会員の皆さまのお気持ちを付度致しまして一生懸命頑張りたいと思っております。どうか宜しくお願い致します。



幹事 加藤 英敏さん

1. 本日の理事会で、秋の家族会を11月11日（土）12日（日）で日帰りもしくは1泊の選択、東京方面という事が決まりました。近々に案内を出させていただきますので、皆さまのご出席をお願い致します。
2. 九州北部豪雨義援金の件で、ニコボックスから50,000円を支出させていただきます。
3. 次回8月8日（火）はガバナー補佐訪問です。会長・幹事懇談会は17時から、クラブ協議会は17時30分からです。該当の方はクラブ計画書をご持参ください。
4. 本日の出席ファイルに地区大会の案内を入れております。確認をお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 会員増強委員長の光岡でございませう。本日は卓話依頼ありがとうございます。宜しくお願いします。 光岡 新吾さん
- ◆ 地区会員増強委員長 光岡さん、卓話よろしくお願ひします。

加藤 英敏さん 中村 勝さん 久米 伸治さん
 神田 広一さん 大橋 さなえさん 伊藤 圭一さん
 山本 郁矢さん 鈴井 一博さん 三浦 隆さん
 朝比美和子さん 久納 征人さん 犬飼りさ枝さん
 安藤 修さん 川瀬 悟さん 本多 利郎さん
 森田敏二三さん 末永 祐敬さん 小島 招啓さん
 田中 一雄さん 上田 正秀さん 杉山 隆秀さん
 坂本 晃さん 長尾 浅吉さん 三浦 和人さん
 細井 俊男さん 江松 央統さん 三島多恵子さん
 入谷 直行さん 中西 芳子さん 木村 猛さん
 佐々木 暢さん 木下 福郎さん 日下智重子さん
 大平 明子さん

本日合計 53,000 円 累計 223,000 円

ロータリー月間委員会卓話

■卓話者ご紹介 会員増強・職業分類委員会 委員長 坂本 晃さん

皆さま、こんばんは。本日は会員増強委員会担当の卓話という事で、地区の会員増強委員長の光岡さんにお話をいただきます。

光岡さんは9年前から地区の会員増強委員として活動されておりまして、我が名南RCの会員だった小山さんが委員長の頃から4年間委員として、それから委員長として色々ご経験を積まれています。

本日は会員増強についての意義や手段、会員の維持をどうするのかについて詳しくご説明いただきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

■国際ロータリー第2760地区

会員増強委員会 委員長 光岡 新吾さん

皆さま、こんばんは。本日は8月に入りまして会員増強月間という事で、卓話にご依頼いただきまして本当にありがとうございます。

私は先程坂本さんが言われたように、ちょうど

小山委員長の時に会員増強委員会に入りました。それからバスターガバナーの加藤陽一さんが委員長になりましたが、ガバナーエレクトの時に兼任は難しいだろうという事で、その後ちょうどガバナー補佐の石川さんが委員長になりました。そんな中で私が一番長かったものですから、抜けられずに会員増強委員会に残って今年で9年目となります。小山委員長には大変お世話になり、まさかこの私が名南RCに来て卓話をするとは思ってもみなかったのですが、本日は宜しくお願い致します。



まず本日会長にお話を伺いましたら、純増会員増強の目標が2名だと聞きまして、本日は久納さんが入ってもう半分達成されているという事で、本当に会員増強の必要があるのかなという感じです。私もこのマリオットアソシアホテルには何回か来させていただいておりますが、確かにこの豪華な食事と立地も良いですし、本当にロータリーらしいです。実際に愛知県内には84クラブがありまして、色々な所で卓話をさせていただいたのですが、今はクラブもメンバーも多様化していて、これは本当にロータリークラブなの?という所もあります。

この2760地区は人数がそんなに減ってはいないのですが、最大で6,000名だったのが今は約4,900名です。何とか悲願の5,000名を目指していきたいという事で、今年も頑張っております。是非入谷会長、2名と言わず10名位の増強を目標にさせていただきたいと考えているところでございます。

本日も来てみて、非常に落ち着いた雰囲気でありまして、女性の方も多いいです。本当は私が話すようなことも無いと思います。ただ、クラブの資料を見せていただいたのですが、現在の平均年齢が66歳という事で、これでもし会員増強がないとすれば、10年経つと平均年齢が76歳となります。そういう面でもやはり会員増強は必要です。まずは会員増強の必要性を感じていただかないといけません。クラブの運営も当然お金もいりますし、会員増強はどうしても必要だという事を認識させていただいて、会員増強月間ですので、是非力を入れていただきたいと思ひます。

それでは、少し自己紹介をさせていただきます。1982年、愛知大学の法経学部経営学科を卒業しております。その後、少しサラリーマンを経験し、1989年に新成不動産という不動産業を創業しまして、1995年からこちら不動産業なのですが合同でやっている会社の社長に就任しました。実は豊田JCに13年いたのですが、卒業してすぐに豊田RCに入れていただき、そして18年目になるかと思ひます。

私が豊田RCに入る時にJCの先輩も沢山いましたので知ってはいましたが、実は豊田RCには卒業時に不動産業は入れなかったのです。職業分類で今はないですが、その時に行政書士もやっております行政書士で入会しました。実は不動産業では入れないクラブが84クラブの中にもまだあります。そういった面では、本日も資料を見せていただいて名簿を拝見したところ、こちらのクラブも不動産業の方が沢山見えますので、安心して話が出来ます。RCも非常に変遷があると感じます。

本日は知っている方がいらっしゃるかどうか分かりませんが、先月お配りしました「ロータリーの友」68ページに載っているガバナーの方で、会長になった時になんと51名の新会員を増強した方です。是非どうやって増やしたのかを読んでいただければいいと思います。

ただこれが東京だと何百人というクラブだとたいした事はないと思いますが、山梨県の60数名のクラブが51名増やしたという事です。実際にクラブが変わってしまいます。そういう事をやってガバナーにもなられたという事ですので、こういった方を見るとやはり大分反対もあったそうです。

元は税理士さんで高崎RCの会長さんですが、この人の信念は「楽しまなくては勿体ない」で楽しいクラブを作る事です。楽しいクラブでなくては新入会員の方も入ってくれませんので、それが一番のメインで増強をしたという事です。ちょうど115名になったのですが、51名が入会する前は会員数が64名で平均年齢が60歳だったわけですが、それが1年後には会員数が115名、そのうち女性会員が7名増えて平均年齢も50歳代の前半となりました。だからこの方が日本中の卓話依頼に引っぱりだこのだそうです。実は小山さんが委員長になる前に名古屋東南RCの伊藤秀雄さんが会員増強委員長だったのですが、伊藤秀雄さんが30名ちょっとの増員で世界でも一番多いと言ってみえたのですが、その方を倍近く超えてしまったという方がこの方です。

具体的な会員増強の提案という事ですが、まず会員増強の必要性と考え方。まず会員増強が必要であると認識していただかないと増えないのです。なんと言っても会員増強の基本は会長です。多分、神野ガバナーもガバナー訪問で言われると思います。会長は5分間の会長挨拶に命をかけると言われていきますので、会長の話を聞きたいと盛んに神野ガバナーが言っておられるので、本日の話も大変参考になりました。

やはり、会長が元気なクラブになりたい、何名にしたいと思うことが大事で、一時は会員数が90名程だったそうなので、潜在能力でいけば90名位の力があると思います。次年度は女性会長もお見えになりますし、まだまだ女性の方の可能性が高いと思いますので、そういった方を入れてもらうのが一番かと思えます。

会員増強はやることが一杯あるのですが、量より質だとか言う方もいますけれども、とにかく会長が会員増強をしたいと思わなければ増えないと思います。100人のクラブに行ってもあと2~3人増えればいいという、希望数が現状プラス1~2名というクラブばかりです。不思議な事にそれが十数名のクラブに行ってもそうなのです。ですから、そのあたりの考えを少し変えていかないと、多分会員増強は非常に難しいのではないかと思います。

本日も少し会員増強委員長さんとお話をさせていただきましたが、やはり若い会員増強委員長が中心となっていった所は、その方の友人を呼びやすいものから、そういった所は増えやすいような気がします。この高崎RCの田中さんも若い会員増強委員長で毎月会議を開いて、51名を入れるのに月に20名程リストアップをして、総勢250名位に声をかけて51名が入ったという事です。そうは言っても今年の

方針としましてはロータリーの多様化ですので、高齢者や定年退職者の方もロータリー適齢期という事で、増やすという事もありますので、そこらは様々なだと思います。

会員増強委員会の役割なのですが、実際に会員増強委員会になった人が会員増強をするのではなくて、全会員の1人1人が勧誘する責務がある事を浸透させる、会長の思いを伝えるというのが会員増強委員会、委員長の役目です。今日のこの良い雰囲気を見ていると会員増強は必要ないような気もしますが、是非皆さま方に10年後は平均年齢が上がっていますので、新会員を入れていただきたいと思えます。

ですから何人のクラブにしたいですかというお話になりますが、昨年を見ますと4名入会して5名退会しているので純減1名です。本日お配りした資料に会員数が書いてあると思いますが、一度目をお通しください。会員増強委員会は毎月15日~20日位になると愛知県中84クラブの増強の結果が出てくるので、西名古屋分区、名南RCさんは昨年2016年4月の会員数が55名、そして女性が9名、6月末が53名。こういった資料を毎月みて、会員増強委員会でこのクラブは頑張っているなど見ているわけです。これを見ると、増えている所は非常に増えているのです。名古屋RCは順番待ちだと伺っていますが、結果的には10名増えています。

今ちょうど私は西三河中分区、豊田RCで斎藤RI理事がいるクラブなのですが、実際去年は96名で始まって6月末には98名になったのですが、104名までになっています。今は金融機関や証券会社の方が転勤で辞めて、また入会しますので、これで100名になっております。私のクラブも70名位になった時から100名を目指そうという事で、そういったチームを作って一応100名になったわけですが、やはり先を見て何とか長期目標を作っていた方がいいかなと思います。

今日は委員長さんに資料をお渡ししておりますが、退会理由も書いてありますので、そこらもご覧ください。自分のクラブの事は分かると思いますが、退会理由で例えば病気や会社の倒産などは仕方が無いと思いますが、その他の理由を無くしていく。辞める理由は色々あるとは思いますが、一身上の都合以外の辞めるような原因を無くしていくのが、会員増強では一番大事ではないかと思っております。

それと同じ人数のクラブが沢山あると思います。色々なクラブに行っていただくと自分のクラブの良さが分かると思うのです。自分のクラブは他のRCと何処が違うのか、どこがいいのか、中にいると分からないのですが、他のクラブへ行くとよく分かると思います。先程の高崎RCの田中さんが会長の時は、他のクラブを知ろう、KOCという愛称でやって、メンバーが他のクラブに沢山行った人を表彰させました。他のクラブへ行くと、自分のクラブがどれだけいいかが分かるし、自分のクラブにない事が分かるのです。そういった事も1つやるといいのかなと思います。ただ他のクラブに行けば、当然入会金や年会費、食事代などの内容も見えますし、講演や親睦の内容も違いがありますので、是非他のクラブへ行くと自分のクラブの良さが分かりますので、

情報収集でいいのかなと思います。

それと、今は規定審議会とCOLが平均して月に2回の例会で良いなど非常に色んなことを言っていますが、実際に私が色んな所へ卓話に行かせていただいても例会の数を減らしてまで増やしたくはないという所がほとんどです。たまには会費を下げてでも安い所を会場にしたいという所もありますが、現状の所でやりたいというクラブが多いような気がします。

あとはどんな人を会員として欲しいのかですが、増強させたい人を色々と検討するのがいいと思います。昔で言うと、地域の名士や企業人なのですが、現在は普通では考えられないような人がビジネスで成功していて、そのような人も入れていただくと活性化に繋がるかと。私も会員増強委員会に9年もいますと、毎年会員増強はクラブ活性化の源であるなど色々な事を言っているのですが、結局は小山元委員長が言っていました、会員増強は会員増強と退会防止が車の両輪となっているという事が一番なのです。クラブの会員数を増やして退会がなくなれば、間違いなく増えます。私は最終年度でありますので、今年は基本に戻ってやっていきたいと思います。

入会のターゲットですが、委員会を強化し、クラブの最重要スタッフを集める。会員増強が無理だと思っている会員を配置しないという事が、一番だと思います。どこのクラブに行っても大体4タイプあります。会員増強に燃えている人、そういった人を見て他念型で自分も頑張ろうという人。この2タイプはいいのですが、いくら会員増強を横で頑張ってもあまり興味の無い人、そして一番悪いのが会員増強を必要ないと言う人もいますので、そういった方を委員長にはさせずに、会員増強委員会には自分の色んな友達を増やしたいという方を入れていただきたいと思います。それと多いのが、周年事業があると思いますが、そういった時に向けて何人増強したいというのが一番集めやすいのかなと思います。大先輩の方々がいる中で大変失礼かとは思いますが、やはり若手を会員増強のキーにする事だと思います。ただやはり高崎RCでも言えますが、あまり若手ばかり行くと、大先輩の方は面白くないという事も実際にはあります。そこはダイバーシティというか多様化という事で、広い心を持って若手の方が友人を誘いたくなるような環境づくりをしていただけると、会員増強が出来るのかなと思っております。

先程タイでのゴルフが非常に良かったというお話がありましたが、地区でも海外によく行きますので、少し慣れたら地区にも出向していただけるといいと思います。私も4月にWFFの関係でインドネシアのジャカルタに行ってきたとして、向こうのロータリアンとも会ってきました。国際奉仕に行きますと、インドネシア語が堪能な方もいらっしゃいますし、現地に行くと非常にロータリアンの方が頑張っていますので、非常に刺激を受けます。話が変わりますが、私はWFFの委員会もやっておりますので、是非沢山の方にご寄付とご協力を宜しく願いしたいと思います。

まとめであります、増やす仲間をイメージする、増強の準備、会員増強の活路という事があります。会員維持は昔だと退会防止、今では会員維持は会員維持活動と退会防止の2つの意味を含んでいます。会員維持には奇策はありません。先程言ったよ

うに、会長さんの5分間のスピーチに命をかけてもらうのが一番かと思っています。あとは退会防止の火の用心活動という事で、辞めると決断してしまうと止めるのは非常に難しいので、ちょっと出が悪くなった人には、前もって声を掛けていただけるといいのかなと思います。

退会理由にも1年未満、3年未満、10年未満と色々ありますが、やはりつまらなくなったとか、意外と1年未満が一番多い理由が人間関係を築けなかった、仲の良い友人が出来なかったなどがあります。会員維持にはこういった退会理由をなくするのが一番だと思います。年次別の対策であります、新入会員にはオリエンテーション、日本事務局、RIの資料、本日もお配りしておりますが、RIでも会員増強の資料が沢山ありますので、こういった会員増強ガイドを見て自分のクラブの現状を把握していただくとよいと思います。

3年~10年は段々と面白くなっていきますが、意外とクラブには派閥や意見対立があったりして、それが退会理由にもなっております。また10年以上のベテランの方は辞めないのかということもそうでもなくて、一通りやって会長まで終わったと言うと、逆に現会長に不満だとか、関心が無くなってしまふ、家庭の事情など。健康上の問題は仕方が無いですが、一通り終わってしまうとまあいいやという方もいらっしゃると思いますので、そういった方はクラブでもう一度委員長を再チャレンジしていただくとか、地区に出ていただくなどしていただけるといいのかなと思います。あとは楽しい例会の運営をしてくださいという事です。

あとRCへの入会のきっかけは、誘われたという人が多いと思いますが、今はこういった奉仕団体は沢山ありますので、ちゃんとした説明が必要であると思います。

以上でまとめになります、会員増強のまとめとしましては、戦略委員会を作るようガバナーからも言われていると思いますが、自分のクラブの3年後、5年後、10年後の目標人数を決定して、クラブ会員全員に周知徹底していただくのが一番です。会社経営と一緒にです。実際に自分の会社の3年後、10年後はどうなっていますかという事で、徹底していただくと。2番目としまして、クラブの多様性を作っていただく。女性や若者、ロータリー適齢期である退職した高齢者の方々もいいのかなと思います。3番目でありまして、とにかく楽しいクラブ作りをしていただくと。やはり会長の挨拶次第ですので、宜しく願い致します。これらの事をまとめていただいて、是非、以前の90人の一番最盛期のクラブにさせていただきたいと思っておりますので、宜しく願い致します。本日はありがとうございました。

第 1231 回例会 (8月22日) のご案内

ゆったり例会 於：ゲートハウス

■ 8 月度理事会 議事録 ■

報告者 安藤 修さん

日時 2017 年 8 月 1 日(火) 17:30 ~

場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F『パイン』

出席者 入谷、鈴木、朝比、加藤(英)、細井、
三島、安藤、伊藤、山本、中西、
本多、江松、犬飼、川瀬

17名中14名参加

◎審議事項

一、なし

◎協議事項

一、11/11(土)秋の家族会の件

<親睦活動・家族委員長 江松 央統さん>
東京日帰りコースと一泊コースで希望を募る。宿泊
ホテルの関係で早めに皆さまへご案内する。

◎報告事項

一、九州北部豪雨義援金の件

<会長 入谷 直行さん>
ニコボックスより 50,000 円義援金として送金する。

一、9 月～ 10 月度プログラムの件

<会場運営・プログラム委員長 本多 利郎さん>

- ・9/12 外部卓話⇒歌舞伎ソムリエ
おくだ健太郎氏
- ・9/26 イニシエーションスピーチ
- ・10/3 米山奨学生 張 佳宝さん卓話
- ・10/17 イニシエーションスピーチ

◎その他

一、事務局給与の件 <幹事 加藤 英敏さん>

・連絡なしや急な欠席など例会食の無駄を無くし、
その分事務局給与に反映できるようにする。今年
度月額 10,000 円の昇給に決定

※次回 9 月度理事会

9 月 12 日(火) 17:30 ~

名古屋マリオットアソシアホテル
17 F『パイン』